

大阪YMC A
創立 140 周年 記念礼拝



創立：1882年6月4日

日時：2022年6月4日（土）

午前10時～11時15分

会場：大阪YMCA会館（土佐堀会館）

10階チャペル 及び オンライン配信

創立 140 周年記念礼拝

全体司会：鷺見ちひろ

使命交読

一部 創立記念礼拝 《10：00～10：40》

奨励 日本基督教団 大阪教会
牧 師 本庄 侑子

二部 YMC Aメッセージ 《10：40～11：15》

メッセージ 大阪YMC A
会 長 岩坂 二規
総主事 小川健一郎

「大阪YMC Aの使命」

(交読文)

- 司会者 大阪YMC Aの使命
一 同 大阪YMC Aは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の
生き方に学び、YMC Aの世界的な運動に連なり、希望を持って、
共に生きる社会の実現をめざします。
- 司会者 ボランティア精神をはぐくみ、
一 同 互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- 司会者 すべての世代の人びとが、
一 同 出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの
活動を展開します。
- 司会者 未来を築く力強い子どもたちを、
一 同 家庭、地域社会と共に育てます。
- 司会者 ^{いのち}生命を尊重する心を養い、
一 同 自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 司会者 世界の人びとと力を合わせ、
一 同 環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

2022 年度大阪YMC A 年間聖句・年間讃美歌

年間聖句： 「恐れるな、わたしはあなたと共にいる。」
(イザヤ書 43 章 5 節：新共同訳)

年間讃美歌： 讃美歌 21 18 番 「心を高くあげよ！」

大阪YMCA創立記念礼拝

司 会 宇 埜 充 洋
奏 楽 日 出 裕 加 里

前 奏 奏 楽 者

讃 美 歌 讃 美 歌 2 1 1 8 番 「心を高くあげよ！」

聖 書 ヨハネによる福音書 1 3 章 3 4 節 司 会 者

開 会 祈 禱 司 会 者

奨 励 「創設者を動かした愛」 日本基督教団 大阪教会
牧 師 本 庄 侑 子

祈 禱

讃 美 歌 讃 美 歌 2 1 4 8 0 番 「新しい時をめざし」

祝 禱

後 奏 奏 楽 者

ヨハネによる福音書 13章 34節

あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。
わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

礼拝 讃美・感謝

「心を高くあげよ！」

"Lift up your hearts!" we lift them, Lord, to Thee
詞：Henry M. Butler, 1833-1918

SURSUM CORDA
曲：Alfred M. Smith, 1879-1971

1 「こころをたかくあげよ！」主のみこえにしたがい、た
2 きりのようなうれいも、やみのようなおそれも、み
3 主からうけたすべてを、ふたたび主にささげて、き
4 おわりの日がきたなら、さばきの座を見あげて、わ

だ主のみを見あげて、こころをたかくあげよう。
なうしろになげすて、こころをたかくあげよう。
よきみ名をほめつつ、こころをたかくあげよう。
がちからのかぎり、こころをたかくあげよう。

(♩=63)

1 「こころを^{たか}高くあげよ！」
主のみ^{こゑ}声にしたがい、
ただ主のみを見あげて、
こころを^{たか}高くあげよう。

2 霧^{かり}のようなうれいも、
やみのような^{おそ}恐れも、
みなうしろに^な投げすて、
こころを^{たか}高くあげよう。

3 主^{しゅ}から^う受けたすべてを、
ふたたび主^{しゅ}にささげて、
きよきみ名をほめつつ、
こころを^{たか}高くあげよう。

4 おわりの^ひ日がきたなら、
さばきの^ざ座を見あげて、
わがちからの^なかぎり、
こころを^{たか}高くあげよう。

ア-メン。

愛
新しい時をめざし

Deus chama a gente pra'um momento novo
詞: Ernesto B. Cardoso, ?

MOMENTO NOVO
曲: Ernesto B. Cardoso, ?

1 あたら しいと きをめざ -し- この世 を か-えるた めに-
2 くるし み、なげ きもたら -す- あくの ち か-らはつ よい-。>
3 あたら しいの ちをう -む- めぐみ の な-か生か され-

まねき にこたえ、あ るきだそう。 かみもと もに おられ る。
> だから 手と手をは なさず に ひとつとなり すすも う。
いつも たがいに あいしあおう、 かみのあいに こたえて。

(くりかえし)
みんな で 手と手つなぎあっ て、いま

ともにわをつ くる。みんな くる う -。

(♩ = 108)

- 1 ^{あたら} ^{とき}新しい時をめざし
この世^よをか^かえるために
招^{まね}きにこたえ、あ^あるきだそう。
か^かみ^{とも}も共^{とも}におられる。

(くりかえし)

みんなで
手^てと手^てつなぎあって、いま
共^{とも}に輪^わをつくらう。

- 2 ^{くる} ^{なげ}苦しみ、嘆きもたらす
^{あく} ^{ちから} ^{つよ}悪の力は強い。
だから手^てと手^てを離^{はな}さずに
ひとつとなり進^{すす}もう。

- 3 ^{あたら} ^{いのち}新しい命をうむ
^{めぐ} ^{なか} ^い恵みの中、生かされ、
^{たが} ^{あい} ^あいつも互いに愛し合おう、
か^かみ^{あい}の愛にこたえて。